

# 進路指導部通信

県立高等特別支援学校

進路指導部



3学期の大きなイベントである文化祭が終了しました。舞台発表では、どの学年からも力のこもった演技の発表がありました。短い期間に集中して準備し、緊張する場面でも練習の成果を発揮できた経験は、これからもきっと役に立つと思います。

さて2月からは、2年生の進路四者懇談が始まります。生徒の皆さんは、入学以来、約2年間の日々の学校生活や現場実習での経験などを振り返り、自分の持っている強みや課題を整理して、この懇談に臨んでください。

また、3年生は、2月3日から2週間の内定実習期間に入ります。自分の進路先で実習する生徒は、会社に慣れ、自分が担当する作業を正確にスピードも意識しながらできるよう充実した期間にしてください。体験的な実習に取り組む生徒は、働く基本を実践する期間とし、自分の進路先を決めるためのよき学びをしてきてください。

保護者の皆様には、懇談のための来校や実習先への送り出し等で、ご協力をお願いいたします。また、暖冬とはいえ体調を崩しやすい時期でもありますので、ご家庭での健康面の見守りもよろしくをお願いいたします。

## 障害者合同就職面接会について

本校を卒業し、一般企業に就職していく生徒の中には、少数ではありますが、障害者合同就職面接会での面接から、就職先が決まることがあります。毎年9月になると、兵庫県内では、「神戸・明石」「阪神」「西播磨」圏域のハローワークが協力して、障害者雇用を考えている企業を集め、面接会を開催します。令和元年度では、神戸市、尼崎市、姫路市のホテルを会場に面接会が開催されました。

各面接会には、40から60社の企業が参加しています。通常、面接会2、3週間前に参加する企業名と募集職種の一覧表が発表されるので、参加する生徒は、その一覧表を見て、当日面接を受ける会社を3~5社選び準備をします。準備内容としては、履歴書を仕上げ、その中に書かれた志望動機を自分の言葉で言えるかどうか、面接の練習もします。そんな時になって、服装がだらしない、言葉遣いができていない、声が小さい、現場実習での経験を思い出せない…など、就職に向けて基本的な事柄ができていない状態だと、面接会での成果は期待できません。



面接会当日は、保護者と本人で会場へ出かけます。会場では、進路部の教員が1名待機していて、面接会の手続きなど分からない場合はお手伝いをします。面接時間は1社15分程度で、面接自体は生徒のみが受け、保護者は待合場所で待機となります。人気のある会社・職種には20人、30人と面接希望者が出てきますので、3~5社面接を受ける場合でも、待ち時間を加えると3時間以上面接会場にいることもあります。

面接の結果は、2週間以内に自宅または学校へ連絡があります。面接で合格をもらった場合は、学校を通して実習をお願いし、実際の職場で働いてみて生徒本人がその会社で頑張れるかどうか、また会社がその生徒を雇用しようと思うかをお互いに判断し、慎重に進路を決めていきます。面接会で2社以上から合格の通知をもらった場合は、その複数社での実習をそれぞれ経験したあと、進路先を決定していきます。

面接会には、新卒の高校生ばかりではなく、職業訓練校・就労移行支援事業所で訓練を受けている年上の方も応募します。また、一度就職し転職をするために面接会に参加する人もいます。また、知的障害だけでなく精神障害、身体障害を持つ方も参加されますので、競争率は高いと考えていてください。